



げろ

議会だより

TOPICS

- 令和7年度予算審査報告
- 3月定例会報告(審議結果)・常任委員会報告
- 一般質問(これって、どうなってるの?)
- 議会への意見提案箱へのご意見等と対応状況
- 議会基本条例の達成状況検証、6月定例会日程

No. 84

令和7年 5月1日

表紙
の
写
真

【新しいランドセルで登校】

令和7年4月8日、前日に入学式を行ったばかりの小学校新1年生が真新しいランドセルを背負って小学校に登校しました。

市は、令和7年度の新規事業として新入学児童の希望者へランドセルを無償配付しました。

令和7年度 下呂市当初予算

一般会計 225億5,000万円

(福祉や教育、まちづくりなど幅広い市民サービス)

△8億8,000万円 (対前年度3.8%減)



特別会計 83億9,404万円

(国民健康保険、介護保険など特定事業に係る7会計)

2億8,141万円 (対前年度3.5%増)



企業会計 66億8,231万6千円

(上下水道、下呂温泉合掌村、金山病院事業に係る4会計)

△5億2,664万7千円 (対前年度7.3%減)



合計 376億2,635万6千円 △11億2,523万7千円 (対前年度2.9%減)



予算規模の大きい事業等

歳入のポイント

基金繰入金	19億2,592万円
地域福祉基金	2億1,200万円
(下呂温泉病院周辺用地購入に充当)	
財政調整基金	2億5,000万円
市 税	44億7,358万円
定額減税廃止	1億3,846万円
宿泊税	8,137万円
市 債	11億9,820万円
(対前年度9億7,558万円的大幅減額)	

歳出のポイント

基金積立	
市内JR駅整備	2億5,007万円
公共事業(公共施設解体)	1億 543万円
次期クリーンセンター整備	2億2,012万円
上ヶ平地区用地取得	3億2,846万円
庁内情報化推進(情報システムの標準化・共通化の推進等)	8,647万円
北部中学校特別教室空調設備整備	1億 9万円

議会からの「市政の課題に対する提言書」の予算への反映状況

「市政の課題に対する提言書」の項目

- ①あさぎりサニーランド移転新築の早期実現
- ②猛暑から市民を守るために
- ③市民の足となる公共交通の確保・充実
- ④防災・減災対策のさらなる強化
- ⑤農地保全が未永くなされていくために

①サニーランド早期移転



上ヶ平地区健康と福祉・スポーツと文化創造拠点整備事業として用地取得

②猛暑から市民を守る



飛騨川公園管理棟への空調設備整備
北部の中学校特別教室への空調設備整備

③公共交通の確保・充実



金山・小坂地域におけるデマンドバス
運行事業の拡充
高等学校等通学費補助制度の創設

④防災・減災対策の強化



非常食品・簡易トイレに係る防災資機材
等整備費補助金の拡充(補助率3/4へ)
小坂・馬瀬地域への防災倉庫設置
避難所資機材購入(3月補正)

⑤農地保全のために



小さな担い手(兼業農家)育成支援金の
創設
現状把握を踏まえた対策協議会の設立

下呂市第三次総合計画(基本計画)の分類ごとに分けて、予算決算 常任委員会での話し合いの内容の一部をご紹介します

※話し合いがされた主な項目と、分類ごとに1つ質疑の状況を紹介しています。

※★印のついた項目は、7ページで詳しく内容を紹介していますので、あわせてご覧ください。

1 心豊かで健康に暮らせるまち

- 妊産婦支援事業の内容
- クアオルト健康ウォーキングの方向性
- 医療人材確保への取り組み
- 病児保育の場所や対象
- 要支援者向け地域密着型サービスである通所型サービスAの現状
- しみずの湯の設備更新計画
- 国民健康保険事業特別会計基金の今後の見通し

問 高齢者生きがいアドバイザー事業の目的は？

答 高齢化・会員減少に直面するシニアクラブに対し、地域福祉や健康づくりの視点から、社会福祉協議会が事務局として支援し活性化を進める。

2 自然環境を守るまち

- 地球温暖化対策、脱炭素社会推進事業の具体的な取り組み
- ごみの総量の変化
- 塵芥収集費の算出根拠
- 資源ごみステーションの配置基準
- 中山浄化園の設備更新に伴う光熱費削減

問 ごみカレンダーのデジタル化の考えは？

答 デジタル化導入済み自治体では利用率が低いのが現状。一方で、多言語対応等の利点もあり、費用対効果を見ながら研究を進める。

3 人と文化を育むまち

- 市内小中学校の空調設備整備の方向性
- スクールバスの運用
- 学校給食地産地消への取り組み
- 学業支援員の配置状況
- 学童保育の体制整備
- 姉妹都市交流事業の今後の方向性
- 文化財活用の方針
- ふるさと歴史記念館の運営

問 アートプロジェクト事業の今後の展開は？

答 次回以降の開催を見据え、基本計画の策定や調査業務を実施。アートを通じた地域の魅力発信や観光資源化、住民参加の展開に向け、県と連携して検討を進める。

4 みんなで地域づくりに取り組むまち

- 移住定住促進事業の実績
- 女性活躍推進への取り組みの方向性
- 集落支援員設置の目的
- 多文化共生の取り組み
- 地域おこし協力隊の今後の計画

問 移住定住促進への今後の取り組みは？

答 令和8年度組織改編に向けて、組織・人員・お試し住宅等トータルで考える必要があり、民間活用も含めて検討していく。

5 安心安全に暮らせるまち

- 学校等への防犯カメラの設置
- ★ 自主防災組織の防災資機材整備への支援
- ★ 防災士の育成・スキルアップに対する取り組み
- 安心安全対策員の業務内容
- 購入予定の消防自動車の機能

問 感震ブレーカー設置補助の内容は？

答 個人の全世帯が対象。種類により上限額は異なるが1/2補助。住宅密集地を中心に全戸設置を目指す。

6 暮らしを支える生活基盤が整ったまち

- ★ 公共交通の利用促進に向けた取り組み
- 集会所等のクーリングシェルター利用
- 空き家実態調査の現状と方向性
- 市営住宅の修繕対応のあり方

問 体育館空調設備の整備方針は？

答 体育館単体ではなく、指定避難所としての機能整備とあわせて、順次導入を検討していく。

7 行財政運営が市民に信頼されるまち

- 上ヶ平地区全体の整備計画
- DX推進による市民の利便性向上
- 庁内のデジタルツールの活用状況
- 庁内情報化推進の利点と今後の見通し

問 財政調整基金の適正規模の考え方は？

答 標準財政規模の20%に相当する財政調整基金30億円に加えて、災害対策で10億円を備え、合計40億円は必要だと考えている。

8 賑わいを生む産業が盛んなまち

- ★ 入湯税・宿泊税の使途
- 観光客受入環境整備事業の内容と方向性
- ★ アグリチャレンジサポート事業の拡充内容
- 地元就職支援事業の対象
- 飛騨小坂ふれあいの森の整備内容

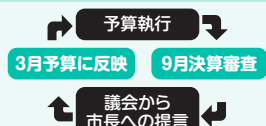
問 商工業振興団体活動事業助成の見直し内容は？

答 商業活性化の重要性を背景に、商工会の体制強化を目的として合併以来初の算出方法見直し。主体的な取り組みへの期待と共に、連携強化を図っていく。

予算審査は以下のポイントに着眼して行いました

- ① 予算が効率的かつ効果的に活用されているか。
- ② 優先度の高い政策に重点的に予算配分されているか。
- ③ 持続可能な財政運営となっているか。
- ④ 「市政の課題に対する提言書」に掲げた項目が、新年度予算にどのように反映されているか。

予算決算審査サイクル



1月臨時会の報告

1月28日、令和7年第1回下呂市議会臨時会を開催し、災害復旧工事に係る変更契約の締結、物価高騰対策、市道除雪対策および消防自動車等購入事業などに係る一般会計補正予算、物価高騰対策として学校給食費を一定期間無償化するための学校給食費特別会計補正予算などを可決しました。

上程議案と審議結果

○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議 案 名	付託委員会	審議結果
坂本線2災害復旧工事請負契約の変更契約の締結について	—	可 決 (全会一致)
令和6年度下呂市一般会計補正予算(第12号)	—	
令和6年度下呂市学校給食費特別会計補正予算(第2号)	—	
令和6年度下呂市水道事業会計補正予算(第3号)	—	

★各上程議案の詳細は、下呂市ホームページをご覧ください。
(右の二次元コードを読み取るとホームページが閲覧できます)



★1月臨時会の議案の提案説明から採決までの映像を動画共有サービス「YouTube」にて視聴できます。

議案審議の詳細
令和7年1月28日
(臨時会本会議)



3月定例会の報告

2月25日から3月24日までの28日間において、令和7年第2回下呂市議会定例会を開催しました。

初日には、人権擁護委員候補者の推薦に係る諮問、下呂市固定資産評価審査委員会委員の選任および下呂市教育委員会教育長の任命に係る同意、条例制定・改正、一般会計・7特別会計・4企業会計の補正予算などについて可決しました。

また、最終日には、条例改正、財産の取得、令和6年度の一般会計補正予算、令和7年度の各会計当初予算などについて可決しました。

上程議案と審議結果

○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議 案 名	付託委員会	審議結果
専決処分の承認について(令和6年度下呂市一般会計補正予算(第13号))	—	承認(全会一致)
人権擁護委員候補者の推薦について【推薦者5名】	—	適任(全会一致)
下呂市固定資産評価審査委員会委員の選任について【選任者3名】	—	同意(全会一致)
下呂市教育委員会教育長の任命について		
下呂市職員の給与に関する条例及び下呂市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	—	可 決 (全会一致)
下呂市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市奨学資金貸与条例について		
下呂市基金条例の一部を改正する条例について		
令和6年度下呂市立金山病院事業会計への繰出について		

★各上程議案の詳細は、下呂市ホームページをご覧ください。
(右の二次元コードを読み取るとホームページが閲覧できます)



※付託委員会略称
まちづくり：民生教育まちづくり常任委員会
産 業：総務産業建設常任委員会
予 算 決 算：予算決算常任委員会

○（引き続き）全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議 案 名	付託委員会	審議結果	
下呂市市営住宅条例の一部を改正する条例について	まちづくり	可 決 (全会一致)	
下呂市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例について			
下呂市地域優良賃貸住宅条例の一部を改正する条例について			
下呂市介護保険法に基づき地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準に関する条例の一部を改正する条例について			
下呂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について			
令和7年度下呂市立金山病院事業会計への繰出について			
財産の譲与について	産業		
下呂市行政組織条例の一部を改正する条例について			
下呂市職員定数条例の一部を改正する条例について			
下呂市職員の給与に関する条例及び下呂市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について			
下呂市第1号会計年度任用職員の報酬等に関する条例及び下呂市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について			
下呂市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について			
下呂市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び下呂市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について			
下呂市職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例について			
下呂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について			
下呂市企業立地促進及び企業支援に関する条例の一部を改正する条例について			
下呂市下水道条例の一部を改正する条例について			
下呂市水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例について			
下呂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について			
令和7年度下呂市水道事業会計への繰出について			
令和7年度下呂市下水道事業会計への繰出について			
令和6年度下呂市一般会計補正予算(第14号)			予算決算
令和6年度下呂市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第5号)			
令和6年度下呂市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)			
令和6年度下呂市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第4号)			
令和6年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号)			
令和6年度下呂市国民健康保険事業特別会計(診療施設勘定)補正予算(第5号)			
令和6年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算(第2号)			
令和6年度下呂市学校給食費特別会計補正予算(第3号)			
令和6年度下呂市水道事業会計補正予算(第4号)			
令和6年度下呂市下水道事業会計補正予算(第3号)			
令和6年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算(第4号)			
令和6年度下呂市立金山病院事業会計補正予算(第2号)			

○（引き続き）全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議 案 名	付託委員会	審議結果
令和7年度下呂市一般会計予算	予算決算	可 決 (全会一致)
令和7年度下呂市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算		
令和7年度下呂市後期高齢者医療特別会計予算		
令和7年度下呂市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)予算		
令和7年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)予算		
令和7年度下呂市国民健康保険事業特別会計(診療施設勘定)予算		
令和7年度下呂市下呂財産区特別会計予算		
令和7年度下呂市学校給食費特別会計予算		
令和7年度下呂市水道事業会計予算		
令和7年度下呂市下水道事業会計予算		
令和7年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計予算		
令和7年度下呂市立金山病院事業会計予算		

○全会一致で可決した議案【市長提出議案（最終日追加提出）】

議 案 名	付託委員会	審議結果
財産の取得について	—	可 決 (全会一致)
下呂市長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について		
令和6年度下呂市一般会計補正予算(第15号)		
令和7年度下呂市下水道事業会計補正予算(第1号)		

○全会一致で可決した議案【議員提出議案】

議 案 名	付託委員会	審議結果
刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書について	—	可決(全会一致)

3月定例会の議案審議の詳細

議第11号

【全会一致で可決】

令和6年度下呂市一般会計補正予算(第14号)
(市長提出議案:予算決算常任委員会審査付託)

【主な補正内容】

- 財産管理諸経費臨時
飛騨農協旧下呂支店用
地購入費 99,805千円
- (歳入)ふるさと寄附金
4月から12月までの収入
確定分による増額
525,667千円



▲飛騨農協旧下呂支店跡地

議第22号

【全会一致で可決】

令和6年度下呂市立金山病院事業会計補正予算(第2号)
(市長提出議案:予算決算常任委員会審査付託)

【主な補正内容】

- 患者数の減による入院収益
の減額 △237,615千円
- 患者数の減による外来収益
の減額 △36,450千円
- 一般会計繰入金(補助金)
の増額 250,000千円



▲下呂市立金山病院

★3月定例会の議案の提案説明から採決までの
映像を動画共有サービス「YouTube」にて
視聴できます。

議案審議の詳細
令和7年2月25日
(定例会初日)



議案審議の詳細
令和7年3月24日
(定例会最終日)



予算決算常任委員会

3月14日・17日・18日・19日の4日間、委員会を開催し、一般会計、7特別会計、4公営企業会計の令和7年度当初予算について審査し、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《防災・減災対策のさらなる強化に向けて》

問 新年度予算における自主防災組織の防災資機材整備に対する支援と地域防災力の向上に大きく貢献する防災士の育成への考え方は。

答 自主防災組織が行う防災資機材の整備に対する補助金について、令和7年度から食料品と簡易トイレ用品に係る補助率を2分の1から4分の3に引上げ、地域での備蓄を促進します。また、防災士育成については、現在294名の防災士が活躍しており、令和7年度においても継続して育成に努めると共に、日本赤十字社との共同によるスキルアップ事業に取り組ま



▲自治会で設置された防災倉庫

《市民の生活の足となる公共交通の確保・充実に向けて》

問 高校生の通学費助成制度が新設されることは、多くの市民が待ち望んでいたものであり、公共交通の利用度を高めるものと評価する。さらに公共交通の利用促進を図るための工夫などの考えは。

答 公共交通を普段利用されていない方に使っていただける仕掛けとして、例えば、食料品や日用品の販売店舗とのタイアップにより、商品購入の際のサービスの付与するような利用への動機づけができないか検討したいと考えます。

また、バスの路線図や時刻表が分かりにくいことが、バス利用を敬遠させている要因の一つでもあると考え、より見やすい方法を模索していき



▲デマンドバス

《農地保全が末永くなされていくために》

問 アグリチャレンジサポート事業として、兼業農家を支援する「小さな担い手育成支援金制度」が創設され、その成果に期待するところであるが、地域農業が抱える課題や二

ズをより正確に把握し、それを的確に政策立案につなげていくためにも、行政主導による協議会の設立が必須と思うが、その考えは。

答 多種多様な困りごとがあると思うので、先ずはアンケート調査などで現状把握を行い、それにより課題を認識したうえで、次のステップとして協議会の立ち上げにつなげていきたいと考えています。



▲農作業の様子

《猛暑から市民を守るために》

問 児童生徒に対する暑さ対策として、小中学校におけるエアコンの設置状況、および徒歩での登下校時の熱中症対策は。

答 令和元年度までに、すべての小中学校の普通教室へのエアコン設置が完了しました。特別教室については、令和6年度に南部地域の中学校で設置が完了、令和7年度に北部地域の中学校、令和8年度から9年度にかけて小学校への設置を予定しています。これにより、すべての学校でエアコンが完備される見込みです。また、徒歩通学における対応としては、水筒の持参による水分補給や、日傘の活用を勧めたりするほか、スクールサポーターによる見守りを

通じ、引き続き必要な配慮を行っていきます。

《地域の未来を創る「宿泊税」導入》

問 令和7年10月から導入される宿泊税は、観光客と市民の双方にとって恩恵が得られる施策に活用するとされているが、具体的な使途は。

答 令和7年度は、観光客の受け入れ環境の整備として、JR下呂駅の整備に向けた財源確保を目的とするJR駅整備基金への積立て、観光客の広範囲な移動と市内観光スポット巡りを促進するための二次交通の実証実験、観光客のスムーズな移動とまち歩きの高適性を向上させるための観光案内表示板の整備に向けた調査や景観に調和したデザイン計画などに宿泊税を充当しています。こうした整備等は、市民にとっても生活がしやすいま



▲下呂温泉第三駐車場

託案件の審査内容を動画共有サービスYouTubeにて視聴できます。



民生教育まちづくり 常任委員会

3月12日、定例会初日に付託された6議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《下呂市市営住宅条例の一部を改正する条例について》

《下呂市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例について》

《下呂市地域優良賃貸住宅条例の一部を改正する条例について》

（将来の人口規模に応じた適正な住宅ストック整備を目的に、従来は定めが無かった入居期間を2年間とし、新たに契約更新制度を導入するため、改正するもの）

問 契約更新制度の導入により、身元引受人等の情報の更新を行うことで、単身入居者の死亡時に遺体や残余財産の引き取りがされず、住宅の明け渡しが行えないといった問題を防ぐと共に、身元引受人の確保が難しい場合、家賃債務保証契約を結べば、家計状況の急変等による家賃滞納や、万が一の時の財産処分等の問題を防ぐことができるのではないか。身元引受人がいない方で、家賃債務保証契約を希望しない方の入居は可能か。

答 家賃債務保証契約はあくまでも任意で、身元引受人がいない方の入

居を拒むことはできないが、身寄りのない方に万が一の時でも安心して暮らしていただくために、契約していただけるよう理解を求めています。

問 市営住宅ストックの整理計画の中で、平成14年の建築といった比較的新しい市営住宅が令和22年までに廃止予定となっているが、その理由は。

答 木造住宅については、耐用年数が30年と定められており、令和22年には耐用年数を超えるため計画に挙がっています。実際には住宅によって老朽化の程度は異なるため、使用可能な住宅については、随時見直しをしながら、少しでも長く使用したいと考えています。



▲公営住宅（花池団地）

託案件の審査内容を動画共有サービスYouTubeにて視聴できます。



総務産業建設 常任委員会

3月13日、定例会初日に付託された15議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《下呂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について》

（令和7年度分国民健康保険税の税率および税額を改めることに伴い改正するもの）

問 今後改正となると、保険税額が上がり、市民にとっては負担増となる。それを避けるために一般財源を充当するのか、もしくは基金を取り崩して充当するのか、基金自体の残高も減る一方で、今後、どのような方針で進めて行くのか。

答 一般財源を充当する考えはなく、国保加入者の皆さまが納めた国保税や基金を上手に使いながら、なるべく保険税額を引き上げないことを前提に、また基金の残高も考慮しながら毎年度しっかりと算定していきます。

市の医療費適正化に向けた取り組み状況に応じた交付金等を活用し、なるべく国保加入者の皆さまに対して負担にならない運営を心掛けていきます。



《下呂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について》

（非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い改正するもの）

消防作業従事者等の補償基礎額の最低額および最高額を引き上げ、扶養に係る補償基礎額の加算額に関する事項を改める）

問 危険が伴う出勤の多い消防団員の皆さまには、市独自の上乗せをするなど、しっかりとした補償が必要ではないか。なり手不足が続く中、そういったことも入団の一つのきっかけになるのでは。

答 執行部としても考えは同じであるが、上位法との兼ね合いもあり、どこまで裁量権があるのかなど、研究しなければならぬ部分も多く、その辺りも踏まえてしっかりと前向きに検討していきたいと考えています。

託案件の審査内容を動画共有サービスYouTubeにて視聴できます。



3月定例会 一般質問

これって、どうなってるの？

【市民に代わって 議員が市政を問う】

議員が市長をはじめとした執行部に対して、執行状況や将来の方針、課題や疑問点など行政全般について報告や説明を求めたり、質問することを一般質問といいます。

鷺見昌己

- ☒ 地域公共交通計画の策定
- ☐ 地域運営組織の仕組みづくり
- ☐ 地域産材の活用方策

森哲士

- ☐ 新年度予算における重点プロジェクト
- ☒ 要介護・要支援者への支援の充実
- ☐ 高齢者等への買い物支援の拡充

加藤久人

- ☒ 下水道事業における経営改善への取り組み
- ☐ 木造住宅の耐震化促進

田中喜登

- ☐ 宿泊税の活用方策
- ☒ 上ヶ平地区健康と福祉の拠点整備
- ☐ 戦没者慰霊事業の実施

桂川いずみ

- ☒ 転院搬送時における救急隊員の負担軽減

高井範和

- ☒ 地域の実情に応じた人口減少対策
- ☐ 社会変化に的確に対応した会計事務

田口琢弥

- ☐ 下呂市電子ポイントの有効活用
- ☒ 下呂温泉中心市街地区における都市再生整備

大西尚子

- ☐ 健康診断の受診率向上に向けて
- ☒ 妊娠期から切れ目のない子育て支援

中島ゆき子

- ☒ 巨大地震に備えた取り組み
- ☐ 金山保健センターと旧ゆったり館の活用
- ☐ 市役所における働きやすい環境づくり

尾里集務

- ☐ 地域の特性に応じた景観形成
- ☒ 地域唯一の高校「益田清風高校」への支援

下平裕次郎

- ☐ 救急医療体制の脆弱化への対策
- ☒ 新県知事が提唱する政策を受けて

桂川融己

- ☐ 先の定例会で議決した附帯決議への対応
- ☐ ふるさと寄附金の有効な活用
- ☒ 市民と共に目指すウェルビーイングなまち

今井政良

- ☐ 飛騨酪農農業協同組合解散と今後の学校給食
- ☐ 集落支援員制度の活用
- ☒ 新年度における子育て支援策

☒ チェックしてある項目を次ページ以降に掲載

議員の写真下の二次元コードから各議員の一般質問の映像を動画共有サービス「YouTube」にて視聴できます。

高校生の通学費の負担軽減を

問 中学生をはじめとする多くの方からの切実な要望を受け、議会から市に対して提言を行った「高校生通学費助成制度の拡充」が、令和7年度予算に反映され、所要の予算が計上されたが、新制度の詳細は。

答 まちづくり推進部長

この制度は、市内に居住する高校生の保護者を対象とします。

高校生が県立益田清風高校にJRまたはバスで通学する場合は、通学定期券の年額から自己負担額として4万円を控除した残額を補助します。



▲通学のためバスに乗り込む高校生

同様に市外の高校に通学する場合は、通学定期券の年額から自己負担額として8万円を控除した残額を補助します。

また、これ以外の保護者の送迎等による通学には一律5千円を補助するものです。

鷺見昌己 議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



在宅介護における思いやり支援の充実を

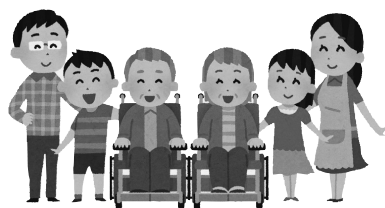
問 在宅介護の負担軽減を目的に実施されている在宅介護支援券支給、および無料もえるごみ処理券追加配付の対象要件拡充の考えは。

答 福祉部長

要介護3以上の方を在宅介護されている世帯のうち、市民税非課税世帯に6万円、世帯員全員の所得割課税額が10万円未満の世帯に5万円として使用できる在宅介護支援券を支給しています。この事業は、65歳以上の方に納めていただいている介護保険料を財源としており、対象要件拡充は慎重な検討が必要と考えます。

併せて、在宅介護支援券支給対象者に対し、おむつ処理

等の負担軽減として、一人当たり年間60枚の無料もえるごみ処理券を追加配付しています。なお、要介護1・2であっても紙おむつの使用が多いことなどから、令和7年度から在宅で生活する要介護1以上の常時おむつを使用している高齢者を対象とし、年度初めに各家庭に配付される無料もえるごみ処理券が無くなったら、申請により配付する制度へと見直す予定です。



森 議員

哲士 議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



下水道事業の経営改善に向けて

問 下水道会計の大幅な赤字を改善する対策として、小規模下水道施設から合併浄化槽への転換事業が進められようとしている。金山地域では2地区が対象であるが、ほとんど反対の声しか聞かえて来ない。理解を得るには大変厳しい状況であるが、今後の方針は。

答 上下水道部長

合併浄化槽転換事業については、無理には進められないと考えています。今後、下水道料金収入の減少や維持管理費用の増加で、下水道事業を取り巻く環境は一層厳しくなる中で、処理施設の更新を図っていく必要があります。このため、施設更新の際には、



加藤 久人 議員
ひさと

一般質問・答弁
の映像はこちら



▲農業集落排水施設南地区処理場(金山)

減っていく処理人口に合わせ、施設を小さくするダウンサイジング等の新たな取り組みを検討しています。
なお、説明会を行った処理区のうち、三つの処理区で転換実施の賛否を確認したところ、139名から回答があり、賛成45%、反対21%、どちらでもないが34%で、転換事業に一定の理解を示されている結果となっています。

市民の心の支えとなる下呂温泉病院の充実を

問 県立下呂温泉病院には、未だ常勤の脳外科医が配置されていない状況が続いており、多くの市民が大変不安に感じている。この状況をどのように捉え、解決に向けて取り組んでいくのか。

答 市長

医師の招へいに関しては、待ったなしの状況です。市立病院も県立病院も関係なく、下呂温泉病院は私たちの病院であるという意識を持って、必要な支援を行っていきま

す。
今後は、下呂温泉病院に医師を集中させて、総合病院を目指す一方で、金山病院・小坂診療所は、一次医療の役割を担い、下呂温泉病院を拠点

病院とした地域医療体制の再編を進めていきたいと考えています。

それにより、現状のように、市外の病院へ救急搬送や転院搬送されるのではなく、下呂温泉病院で確実に救急対応できる体制の構築に向けて、下呂温泉病院との連携を強化し、医師会、薬剤師会、歯科医師会の協力も得ながら、しっかりと取り組んでいきたいと思います。



▲県立下呂温泉病院



田中 喜登 議員
なかのり

一般質問・答弁
の映像はこちら



転院搬送時における救急隊員の負担軽減を

問 市外への転院搬送が増加傾向の中、コンビニや道の駅で休憩している救急車を見かけることがある。先の救急車の事故を受けての急遽の対応と思うが、他に方策はないのか。

答 消防長

事故後の再発防止策として、まずは「市外救急搬送時の休憩に関する取り決め」を定めました。休憩は疲労感や倦怠感に即効薬であることから、市外搬送における帰りの道中では基本30分に1回休憩するというもので、搬送先や時間帯により1回から3回の休憩を定めたものです。

その後、救急運転員2名体制による確実な休憩時間の取



桂川 いずみ
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



▲消防本部救急車

得を実践しています。例えば、夜間勤務が終了する頃、もしくは終了直後に救急出動要請があった場合、休憩なしで連続勤務とならないよう、それまで仮眠していた隊員が交代要員として出動することで運転員の負担軽減を行うものです。この対応策は、職員からの意見を元に、消防本部の最終決定機関である署課長会議で決定しました。

女性が輝く魅力的なまちづくりに向けて

問 社会の意識や価値観の問題が若い女性の流出に影響しているとの分析もあるが、若い女性の流出抑制対策は。

答 地域振興部長

令和5年度に実施した市民アンケートでは、「女性だから」という理由で不利益や不公平を感じることもあると回答されたのが、男性の約21%に対し、女性が約41%と高く、不利益や不満を感じる女性が多いという結果が出ています。女性の流出を防ぐためには、社会の意識や価値観の改革も同時に行っていく必要があると感じています。

女性にとって働きやすい、働きがいのある環境づくり、子育て・教育環境の充実などに加え、男性の家事・育児参加の促進など、家庭や地域における意識改革を推進し、女性が活躍できる可能性を広く発信することにより、若い女性が将来への希望を持ち、下呂市に定着、または帰ってきたいと思える魅力的なまちづくりに取り組んでいきたいと考えます。



高井 範和
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



下呂温泉を核とした賑わい空間の創造を

問 下呂温泉街を中心とした賑わいの拠点整備の詳細は。

答 まちづくり推進部長

市では、個性光る温泉地へ進化し続けるため、「観光客のまち中滞在価値」、「住民の日常体験価値」の向上を目指し、公民連携によるまちづくりを進め、観光客・住民の双方が普遍的価値をまちの魅力として感じとれるよう、温泉街の再構築に挑むものです。

具体的には、JR高山本線全線開通100周年を目標に、下呂駅周辺整備（駅前ロータリーや東西を結ぶ自由通路整備と合わせた駅舎改修等）の検討を進めます。また、下呂温泉病院本館跡地には、温泉街のランドマークとなる



田口 琢弥
議長

一般質問・答弁
の映像はこちら



▲せせらぎの小径（阿多野谷）

滞在空間の整備を予定しています。さらに、下呂大橋を渡った先では、阿多野谷を中心にまち歩きを楽しめる空間整備を進め、新たな人の流れを創出します。

これらの構想と合わせ、将来を見据えた未来の交通手段として、自動運転の実証実験を下呂駅から下呂温泉病院の間で進めます。

安心して出産・子育てができるよう支援の充実を

問 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援が求められているが、その取り組みは。

答 市民保健部長

市では、県立下呂温泉病院での分娩の休診を受け、二つの支援策を新たに創設しました。一つ目は、全ての妊婦を対象に、妊婦健診に係る交通費を助成し、経済的負担の軽減を図り、適切な医療や保健サービスが受けられるよう支援します。二つ目は、緊急な状態になった妊婦を迅速に医療機関へ搬送する「下呂市ママ・サポート119」を整備します。「下呂市ママ・サポート119」とは、事前に登録していただいた妊婦の情報を

市こども家庭センターと市消防本部で共有し、出産の兆候や体調の異常があった際に、かかりつけ医の指導の下、搬送のルールを共有しておくことで迷いなくスムーズな対応がとれるシステムです。

今後も、ニーズに応じた子育て支援策を積極的に講じ、安心して子どもを産み育てられる社会の実現に向け取り組んでいきます。



大西 尚子
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



地震に備え「感震ブレーカー」の普及促進を

問 停電後の通電による火災発生を防ぐ対策として、感震ブレーカーの設置が有効とされている。全世帯での設置が望ましいが、具体的な周知方法は。

答 消防長

「感震ブレーカー」は、地震を感じた時点でブレーカーを落とし、電気を遮断して火災発生を防ぎ、併せて通電火災を防止するものです。

全世帯で設置されることが理想であり、特に住宅密集地においては、お互いを守るといふ点で非常に有効な器具であり、あらゆる広報を予定しています。

まずは、令和7年度からの



▲感震ブレーカー

感震ブレーカー設置補助制度のチラシを全世帯へ配布します。また、女性防火クラブにご協力いただき、住宅火災警報器と感震ブレーカーの設置啓発街頭活動を行う予定です。さらに下呂市木造住宅協議会へは、新築やリフォームの際に施主に説明、推奨していただくよう依頼します。また、地域を守るといふ観点から自治会にも説明し、設置を推進したいと考えます。

一般質問・答弁
の映像はこちら



なかしま
中島ゆき子
議員

益田清風高校を未来につなぐため

問 市内唯一の高校を存続していくため、市外の生徒に対する下宿や入寮などに係る支援の考えは。

答 教育委員会事務局長

現在、市では、市外から通学する高校生に対しての支援はなく、下呂市の高校生が市内外で下宿する場合の支援はありません。

益田清風高校では、全体の2割ほどが市外の生徒ですが、その多くが自宅から通学が可能です。下宿に対するニーズはほとんどないと聞いています。また、下呂市の高校生が下宿する場合の支援がない中、市外の高校生に対し支援することは公平性に欠けるといふ課題もあります。

しかしながら、市外から益

田清風高校へ来てくれて、この地に暮らしてくれ、ことは、生徒数増加だけでなく、地域住民との交流、関係人口の増加といった地域活性化につながるメリットも考えられます。

具体的な支援策やその効果について、他の自治体の事例なども参考にしながら、慎重に考えなければならぬ課題であると思います。



▲県立益田清風高等学校

おぎとあつむ
尾里集務
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



女性や若者が活躍できる社会を目指して

そうした中、事業所における若者の雇用確保・定着対策としては、労働時間の短縮やフレックスタイム制度の導入、有給休暇の積極的な取得奨励、性別による偏見等の排除、女性がキャリアを継続できる環境づくりなど、「働きやすい職場環境の整備」が重

要なポイントとなっています。このため、新規就業者への意識調査の実施や事業所への働きやすい職場づくりに向けた働きかけ、情報提供等を行っていきたく考えています。

【答】観光商工部長

女性や若者が持てる力を発揮できる働き方や職場づくり、起業などのスタートアップへの取り組みは。



しも ひら ゆう じ ろう
下平裕次郎
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



▲市内で活躍する女性起業家

また、起業などスタートアップについては、起業・創業セミナーの開催や相談窓口の設置や案内、起業・創業に関する補助金制度を設け支援をしているところです。

ウェルビーイングなまちを目指すために

【問】ウェルビーイングなまちを目指す上で、今の下呂市には何が大切なか。

【答】まちづくり推進部長

市民の皆さまに自信と誇りを持つていただけるウェルビーイングなまちを目指すため、三つの視点を大切にします。

第一に、地域資源と人々の温かさの再評価です。地域ブランド調査で岐阜県の市町村で最高評価を得た魅力を見つめ直し、磨き上げ、市内外に発信することで、郷土愛を育みます。第二に、市民同士のつながりと支え合いを生む、多様なコミュニティの形成です。地域活動や世代間交流、多文化共生などを通じて、安心感と帰属意識をもたらし

ます。第三に、市民一人ひとりが自分の可能性を最大限に発

揮できる環境づくりと、未来を切り拓く力強いマインドの醸成です。起業支援や文化活動、生涯学習の機会を充実させ、「やってみたい!」という気持ちを応援します。これらの取り組みを市民の皆さまと共に進め、誰もが「下呂市に住んでいて良かった」と心から思えるまちを実現していきます。



かつら かわ ゆう き
桂川融己
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



▲最上位の行政計画 — 下呂市第三次総合計画

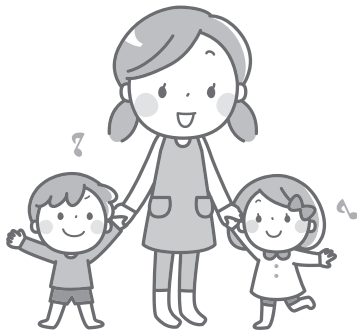
少子化に立ち向かう子育て支援を

問 少子化が深刻化する中、その対策の充実が求められるが、新たな子育て支援策は。

答 福祉部長

病児保育や国の制度を活用した妊婦のための支援給付交付金等を行う予定です。

病児保育では、子どもが病気の際、保護者が就労等の事情で自宅での保育が困難な場合、保育所等に病気の子どもを一時的に預けられるようにするもので、これにより保護者が働きながら安心して子育てができる環境を整えたいと考えます。なお、病児保育事業所を市内の北部・中部・南部に各1カ所開設できるように調整を図っています。



いま
井 政 良
よし
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



また、妊婦のための支援給付交付金事業では、妊娠期間の切れ目ない相談支援を行う「妊婦等包括相談支援事業」と妊娠期の経済的負担軽減を図るための「妊婦のための支援給付金」を効果的に組み合わせ、総合的な支援を図ることとしています。支援給付金は、妊婦認定後に5万円、妊娠している子どもの数に対し5万円を支給することとしています。

下呂温泉街整備 特別委員会

3月17日、特別委員会を開催し、市長および担当部局から、報告を受けました。

《都市再生整備事業 下呂市街なみ環境整備事業補助金制度について》

市は下呂温泉の魅力さをさらに磨き上げるため、行政と地域住民が協働しながら、景観による街なみ整備を進めています。この事業では対象エリアごとに、建物、工作物や屋外広告物等の外観についてルールを定め、これらを「景観まちづくり協定」として土地所有者間で締結しています。現在までに協定締結、または協定案が策定されたエリアは、森の松原通り地区、森・湯之島にまたがる阿多野谷地区で、7年度は森の松原西地区で協定の策定を目指しています。委員会では、7年度から始まる協定に則った建物の修景整備に関する補助金について説明がありました。



※イラストはイメージです

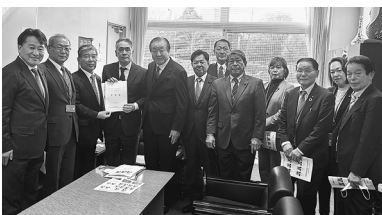
濃飛横断自動車道の 早期開通に向けて

《濃飛横断自動車道とは?》

郡上市から下呂市を経由して、中津川市に至る高規格道路で、東海北陸自動車道と中央自動車道を結び岐阜県の高規格道路網を形成する大変重要な道路です。

濃飛横断自動車道路計画沿線に位置する本市と中津川市・郡上市・東白川村の各議会では、「濃飛横断道・三市一村議会委員会合同会議」を組織し、連携しながら、濃飛横断自動車道の早期全線開通に向けた活動に取り組んでいます。

本年2月、当合同会議では初めてとなる国土交通省および関係国會議員への要望を行い、地元のことを届けました。面談を行った国土交通省の道路局長からは、「リニア中央新幹線の効果を広域的に波及させるには、濃飛横断自動車道の存在は大きい。だからこそ確実に前進できるように取り組んでいきたい。」と、大変前向きな発言をいただきました。



▲国土交通省道路局長との要望面談

『議会への意見・提案箱』へのご意見等と対応状況をお伝えします

下呂市議会では、市民の皆さまから幅広いご意見やご提案をお気軽に出していただける仕組みとして、「議会への意見・提案箱」を設置しています。

寄せられたご意見等は、関係する委員会に引継ぎ、それぞれの委員会が決定した方針（調査研究を踏まえた市担当部局への提言など）に基づき、具体的な対応を行っています。令和7年3月末までに寄せられたご意見等と各委員会での対応状況を取りまとめましたのでお知らせします。

民生教育まちづくり常任委員会

● 子育て支援

市 民 複合型子ども・子育て支援拠点施設「ニコリエ」の館内の暑さ対策を。

委員会 利用者から館内空調についてご意見があった旨を施設管理者へ伝え、改善いただきました。

● まちづくり

市 民 公園を作ってほしい。

委員会 令和6年3月策定の下呂市公園整備計画(バランス期)～第2ステージ多様な活用編～に引き続き、令和7年3月には同整備計画(バランス期)～第2ステージ暑さ対策編～が策定されていますので、計画の進捗を注視していきます。

市 民 もしもの時に妊婦が使えるタクシーなどの移動手段がほしい。

委員会 妊婦の救急搬送対策として、令和7年度から「ママ・サポート119」事業が運用されます。

市 民 高齢者向けの医療用タクシーなどの移動手段がほしい。

委員会 高齢者にとって利便性のある公共交通のあり方について調査研究を行い、今後も議会として提案をしていきます。

市 民 公営住宅の修繕工事計画の再考を。

委員会 市担当部局に対応を要請しました。

● 教 育

市 民 長距離の徒歩通学をしている児童生徒の熱中症が心配される。バス通学の対象距離の見直しを。

委員会 市政の課題に対する提言書の中に「猛暑から市民を守るために」として同意見を盛り込み、市長に提出しました。

市 民 小中学生スポーツクラブの活動に係る施設利用料の免除を。

委員会 令和7年度予算審査の中で要望を行いました。今後も継続して調査研究を行い、執行部に必要な提案を行っていきます。

市 民 部活動地域指導員の活動内容や人員確保の観点から報酬の見直しを。

委員会 令和7年度予算において報酬単価が改善されます。1回(3時間程度)の指導に対し、令和6年度2,000円から令和7年度3,000円となります。

総務産業建設常任委員会

● 観 光

市 民 市内の国道41号沿線にメガ道の駅を作ったらどうか。

委員会 関係機関等との協議も必要となるため、継続調査を行っていきます。

市 民 観光客の安全確保のため、湯之島地内の車道・歩道の整備を。

委員会 市担当部局と情報共有を行いました。

● 生活支援

市 民 物価高騰のため、以前のような買い物クーポンの配布を。

委員会 1月議会で補正予算が可決され、市民生活支援として「給油クーポン配布事業」が実施されました。

● 河川道路

市 民 県道・国道の地区境界に地区名標識の設置を。

委員会 担当する岐阜県土木事務所等に意見を伝えました。

● 消防防災

市 民 消防団の操法大会を廃止してほしい。子どもファーストと謳いながら毎晩行われる操法大会の訓練に疑問を感じる。

委員会 消防団を管轄する下呂市消防協会との情報共有を行いました。

ご意見等につきましては、紙面の関係上、主なもののみ掲載していますのでご容赦願います。なお、ご意見等の中には、引き続き調査研究を必要とする内容もありますが、市民の皆さまからの貴重な声を反映した政策提言等へとつないでいけるよう努めています。

「げろ議会だより」アンケート

「げろ議会だより」をお読みいただき、ありがとうございます。「読みたくなる議会だより」とするため、皆さんの声をお聞かせください。右の二次元コードを読み取り、アンケートに回答をお願いします。



インターネットライブ配信

本会議および常任委員会（付託案件審査）は、動画共有サービス（YouTube）にてライブ配信を行っています。

<https://www.youtube.com/channel/UCALIKRpFipq7Mtp--rJGKQ/featured>

ライブ配信動画は、次回定例会までYouTubeから視聴できます。過去の配信動画は、下呂市ホームページにて視聴できます。



議会基本条例の達成状況を検証しました

下呂市議会基本条例は、議会の果たすべき役割や責任を認識し、市民福祉の向上のため、議会一丸となって全力で取り組んでいくことを決意し、令和3年に制定したものです。本条例の第27条では、「議会は、この条例の施行の状況について議会改革特別委員会において検証し、その検証結果に基づき、必要に応じて、この条例の見直しを行うものとする」と規定されています。

このため、議会改革特別委員会を中心に、令和6年度における条例の各条項の達成状況に係る検証作業に取り組み、この度、その検証結果と評価を取りまとめましたので、お知らせいたします。

【主な検証結果・評価】

《評価の段階：A「達成」、B「一部達成」、C「未達成」、－「対象外」》

条 項	主な取組状況・実績等	評価・今後の対策等	評価
第5条	市民参加及び市民との連携 ○本会議のケーブルテレビ放送・インターネット配信、常任委員会における付託案件審査状況のインターネット配信 ○「出前座談会（市民と議会との意見交換会）」（令和6年度：4団体）および各種団体との懇談会の開催（令和6年度：1団体）	議会活動の透明性を高めるため、すべての委員会の内容を容易に知ることができるよう検討が必要である。	B
		市民と議会との意見交換会は、効果的な広聴活動となるよう開催方法等の検討が必要である。	B
第6条	議会広報の充実 ○議会だよりの紙面デザインをリニューアル ○議会だよりへの意見を聴取するアンケートの実施 ○一般質問通告内容をより詳細にホームページで公表	市民に開かれ、より身近な議会を目指し、もっと読みたくなる議会だよりへと努めていくと共に、ホームページ等での情報発信の充実に向け、継続的に取り組む必要がある。	B
第8条	市長等との関係 ○常任委員会ごとで調整した市政の課題に対する提言書を議会として市長に提出（令和6年12月20日提出）	執行部と政策競争をする議会を目指すため、さらなる議員の意識改革と資質向上、継続的な議論が可能な議会体制の構築が必要である。	B
第9条	政策等形成過程の説明 ○市の重要な政策等の形成過程における説明を求める場として、政策等説明会を試行開催（令和6年度：7回開催）	十分な議論を通じ、より良い成案へとつなげるための仕組みとして、政策等説明会を開催したが、これまでの実施状況の検証を踏まえ、運用方法等の改善に取り組む必要がある。	B
第13条	委員会等の運営 ○予算と決算を総合的一体的に審査するため、予算決算常任委員会へと体制を見直すと共に、その審査を充実させるため、予算決算審査準備会を設置する等、新たな審査サイクルを策定	決算審査によって明確になった論点をその後の予算審査に効果的に活かすための政策サイクルのあり方について、継続的に検討しなければならない。	B

*議会基本条例は、制定して終わりではなく、その成果や課題を検証して、さらにレベルアップした条例へと改正していくことが、議会活動の質の向上にとってとても重要です。そのためにも、この検証の取り組みを継続していきます。

*すべての条項に係る検証結果・評価は、下呂市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

編集後記

3月定例会では、新年度予算について審議しました。予算書には、下呂市がどんなことに力を入れていくのか、どんな課題に取り組もうとしているのか、私たちの暮らしに関わる大切な計画がたくさん詰まっています。

気になる政策分野がありましたら、ぜひ第三次総合計画・施政方針とあわせて、予算書に目を通してみてください。わからないことがあれば、お近くの議員に気軽に声をかけてください。これからも、皆さんとの座談会や意見箱等を通じて、たくさんのご意見をお聞かせください。皆さんの声を大切にしながら、わかりやすい情報をお届けしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします！（Y・K）

6月定例会会期日程(予定)

6月定例会の会期日程(予定)をお知らせします。なお、一般質問などの内容は新聞折込および下呂市メールでお知らせします。

月	日	曜日	会 議 内 容	時 間
6月	6日	金	本会議(初日)	午前9時30分～
	19日	木	本会議(一般質問)	
	20日	金	本会議(一般質問)	
	23日	月	常任委員会	
	24日	火	常任委員会	
	25日	水	予算決算常任委員会(予算関係)	
	27日	金	本会議(最終日)	

※日程は変更になる場合があります。 場所：本会議(下呂庁舎3階議場) 委員会(下呂庁舎3-1会議室)